

\*\*\*\*\*

# 長中魂



平成29年8月29日(火)

第15号

伊豆の国市立長岡中学校だより

文責 守野 和弘

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

## 2学期始業式・代表の言葉

\*\*\*\*\*

平成29年度第2学期が昨日28日よりスタートしました。夏休みに取り組んだことや、第3ステージ「団結」、第4ステージ「充実」に向けてどのように取り組むのかなどの抱負を、各学年の代表生徒が述べてくれました。

### 3年3組 加藤 優介さん

この夏休みは、これまでとは違う夏休みでした。それは部活動がなかったという点です。大半の3年生は部活動が終わり、家にいる時間が長かったと思います。僕はこの夏休みから塾に通い始め、これまでの夏休みより勉強をする時間が増え、今まで習ったことの復習やテストに向けての勉強をしてきました。それぞれ違う高校を目指しているけど、自分の目標のためにみんな勉強を一生懸命にやっていました。高校に入学するという事は人生を決める上で一つの大きな分岐点であり、自分の志望校に行けるかどうかはとても重要だと思います。

3年生は中体連という一つの壁を越えて、自分に自信がついたと思います。僕は小学校3年生からバスケットボールを始め、最初は人任せのプレーが多く、試合に出てもあまり活躍することがなかったので、バスケットボールがあまり好きではありませんでした。しかし続けていくにつれて人任せのプレーが減り、だんだん自分が活躍する機会が増え、バスケットボールが好きになりました。そして、中学校でバスケットボール部に入り、副部長となってみんなをまとめる立場となり、プレーにも自信が付き始めました。バスケットボールを通して色々なことに挑戦をし、自分でもやればできるという自信ができました。その自信を、受験勉強や入試などに生かして志望校に合格することを今の僕の目標にしています。



そして、3年生にとって最後のかつらぎ祭があります。今までは先輩たちに引っ張ってもらっていたけど、今年は僕たちが後輩を引っ張っていく立場になります。1・2年生の手本となるような行動をとり、それぞれの縦割りの団長が中心となって、体育の部と文化の部の両方で優勝を目指して練習をしていきたいと思っています。

これらのことを踏まえて、充実した2学期にしていきたいと思っています。

### 2年3組 田中 若奈さん

どの部活動も中体連が終わり、2年生を主体とした新体制となりました。夏休み、私たち吹奏楽部は他の部活動より少し遅い夏のコンクールに向けて、さまざまな努力をしました。例えば基礎練習を充実させる、音程のずれを少なくする、ホール練習を行い、本番に近い状況で演奏する、録音をして欠点を見つける等、できる限りのことをしました。私は、口の中が切れても痛みに耐えながら練習をした日もありました。

あっという間にコンクール当日になり、あっという間に自分たちの番が来ました。緊張しながらも励まし合い、ついに本番。たった7分。されど7分。私は必死に演奏しました。終わった後は皆笑顔で、自信を持っていました。その自信に沿うように、金賞をとることができ、皆で涙を流しながら喜びました。

今回とれた金賞は、先輩方に引っ張り上げてもらってこそその金賞だと思います。また、涙を



流せるほどの部活動に対する思いを育てて下さったのも先輩方です。私はこの金賞を本当に誇りに思います。

今まで私たち2年生は、先輩についていだけだったので世代交代した今、部活動全体としての動きやパート練習などで至らない点が多々あり、「先輩」という存在がどれほど大きかったのか身に染みて感じます。

これから、私たち2年生は9人という少人数の中で、15人の1年生を引っ張っていかねばなりません。だから、私たちは先輩方の2倍も3倍も努力や苦勞をしないとこの部活動は支えられないと思います。

一日でも早く先輩方が支えてくれた様になれるよう、精進するのが課題となります。先輩方に成長したと認めてもらえるよう、態度だけでなく、この部活動だけの音楽を創り上げ、来年も先輩方に続き、金賞をとります。

さて、2学期に大きな行事といえば、かつらぎ祭です。体育の部では縦割りで、文化の部ではクラスで優賞を目標に協力することが重要となります。去年、1年生だった私たちは体育の部で何も分からず、素早く動くことができなくて迷惑を掛けてしまいました。今年こそは、一年経験している私たちが先輩をサポートし、後輩の手本となるように一番働きたいと思います。

かつらぎ祭を成功させるため、まずは自らの気持ちをしっかりと引き締めていきたいです。私たちは2年生。中堅学年です。先輩を支え、後輩を引っ張る立場なのはもう当たり前。私はプラスして、先輩方が受験勉強にしっかり専念できる、2年生に任せてもらえる、そんな学年になりたいです。これからは私たちが学校を創っていくくらいのつもりで2学期は責任を持って頑張ります。



## 1年2組 高橋 咲衣さん

「私にできることは、少ないかもしれない。でも、できることは全力でサポートしたい。」

経験のないバスケットボール部に入部した私は、スタート地点から同じ1年生のみんなより遅れをとっていました。バスケットボールのルールやパスの出し方も知らないもので、どう動いていいのかわかりませんでした。思うように体を動かさず、もどかしいと思っていました。そんなとき、部室に飾られている中体連の賞状が目にとまりました。先輩たちが、毎日一生懸命に練習しているのは、中体連 連覇を目指しているからなのだと分かりました。そんな先輩たちを精一杯サポートしたいと思い、私は激励会の応援団に立候補しました。応援団の練習では、早朝に集まり、2年生の先輩方の指導のもと一生懸命に練習し、本番では最高の応援ができたと思います。

夏休みに入り、暑い中で厳しい練習を行う部活動が辛く感じることもありましたが、バスケットボール経験者の仲間たちに早く追いつきたいという思いで、何とか乗り越えることができました。2学期には、秋季大会があります。今以上に練習をし、体力と技術を身につけ、一つでも多くの試合に出場させてもらえるようにがんばりたいです。

クラスでは、1学期に行われた宿泊体験に向けて、一人ひとりが真剣に準備に取り組むことができました。スタンプの練習にも一生懸命取り組みました。クラスが一つとなって踊ったダンスはとても楽しかったです。2学期に行われるかつらぎ祭では、クラス一丸となって精一杯練習し、いい結果を出したいと思います。

学習面では、1学期は勉強と部活動との両立も上手くできないまま、一日一日を必死で過ごしていました。初めての中間・期末テストも計画的に勉強を進めることができず、目標順位を達成することができませんでした。苦手教科はどうしても勉強時間が短くなってしまい、その結果、分からないことが増えるという悪循環をつくってしまいました。2学期にはこの反省を生かし、苦手教科に力を入れ、少しでも良い結果を残し、自信が持てるようにしたいと思います。

2学期も休むことなく登校し、今日発表した1学期の反省と2学期の目標を忘れずに、努力を続けていきたいと思っています。

